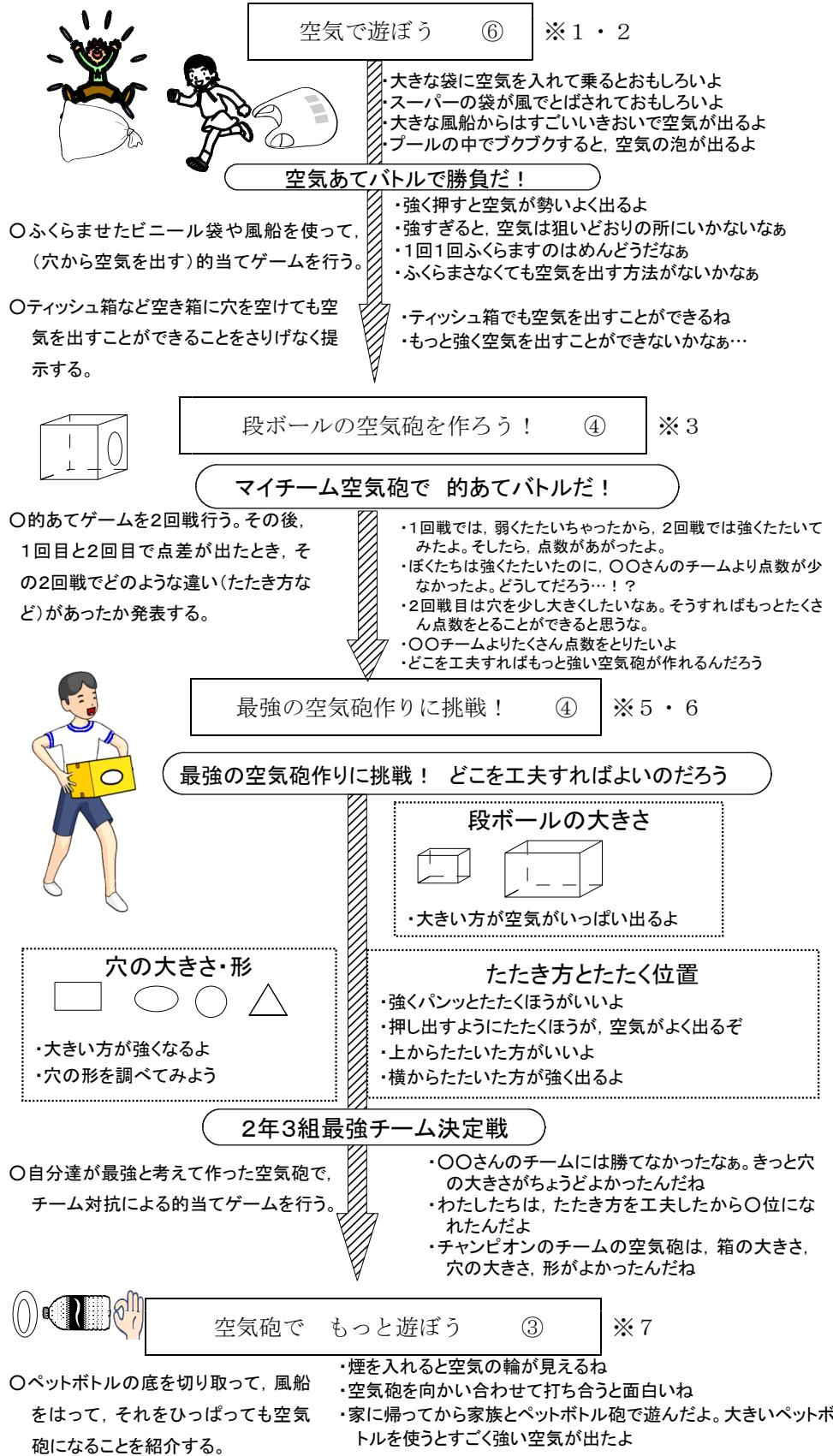


単元構想(全17時間)



教師支援

※1 身の回りにはたしかに空気が存在するということを実感させるために、さまざまな空気あそびを行う。

※2 遊びを通して、「空気」と「風」の違いについて区別させ、今後は「空気」遊びをしていくことを意識づける。

※3 子ども達に自由に空気砲を製作させるために、前時に空気砲を紹介することで、空気砲作りへの意欲を高め、材料集めをさせる。

※4 「もっと強い空気砲は作れないのかなあ」のような声かけをすることにより、子ども達の気付きの質を高める。

※5 製作過程で気付いたことや工夫を伝え合う場面を設定することで、気付きを共有できるようにする。

※6 穴の形や大きさについては、あらかじめさまざまな形の道具を生活科室に用意しておき、子ども達が自由に使えるようにするよう準備しておく。

※7 段ボール以外の身近なものを使っても(ペットボトル)空気砲が作れることを紹介することにより、子ども達の発想が広がるようにする。